

March 4, 2020

【前日の為替概況】ドル円 106.93 円まで下落、G7 声明への失望と緊急 FRB 利下げ 0.5%

3日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反落。終値は107.13円と前営業日NY終値(108.33円)と比べて1円20銭程度のドル安水準。G7財務相・中央銀行総裁が新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気下振れリスクに対応するため「あらゆる適切な政策手段を用いる」との共同声明を発表すると、「具体策に乏しい内容だった」と受け止められて失望売りが先行した。

米連邦準備理事会(FRB)が臨時の米連邦公開市場委員会(FOMC)を開き、政策金利を0.5%引き下げたと伝わると、米10年債利回りが一時0.9043%と過去最低水準を更新。全般ドル売りが活発化し一時106.93円と昨年10月9日以来の安値を付けた。FRBの緊急利下げで一時380ドル超上昇したダウ平均が失速し1000ドル近く下落したことも相場の重しとなった。ナイト・セッションの日経平均先物は大証終値比300円安の2万0680円まで売られる場面があった。

ユーロドルは4日続伸。終値は1.1173ドルと前営業日NY終値(1.1129ドル)と比べて0.0044ドル程度のユーロ高水準。ユーロ豪ドルやユーロNZドルなどユーロクロスの下落につれたユーロ売り・ドル買いが先行し一時1.1095ドルと日通し安値を付けたものの、売り一巡後は買い戻しが優勢に。FRBの緊急利下げを受けて全般ドル売りが強まると、一時1.1212ドルと1月2日以来の高値を付けた。

パウエルFRB議長はFOMC後の会見で「今後数カ月の動向を注視し、経済を支えるために適切に行動する」と述べたほか、「G7諸国はそれぞれ行動へ」「公式な協調行動、追加で実施する可能性もある」との考えを示した。

ユーロ円は反落。終値は119.69円と前営業日NY終値(120.55円)と比べて86銭程度のユーロ安水準。ユーロドルが上昇した影響を受けて一時120.50円付近まで上げたものの、すぐに失速。ドル円が下落した影響を受けたほか、米国株の大幅反落が相場の重しとなり一時119.54円と本日安値を付けた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、G7 声明への失望・FRB0.5%緊急利下げ・NY株安などで続落か

本日の東京市場のドル円は、緊急G7声明や緊急FRB利下げにも関わらず株安・ドル安に歯止めがかからなかったことで、続落が予想される。

NY株式市場は、昨日のG7財務相・中銀総裁による緊急電話会合での「G7声明」(強固で持続可能な成長を実現するため、また下方リスクから守るため、すべての適切な政策手段を用いるとのコミットメントを再確認する)や米連邦準備理事会(FRB)による0.50%の緊急利下げ(FF金利誘導目標:1.50-75%⇒1.00-1.25%)にも関わらず、785.91ドル安で引けている。CME日経平均先物(3月限)も20675円まで下落後、前日大阪比100円安の20880円で引けており、本日の日経平均株価も下落が予想されることで、ドル円も続落が予想される。

ドル円の売りは、3月期末決算に向けたレパトリエーション(国外投資資金の本国環流)の他に、スワップコスト高により円高ヘッジをしないで外債投資をしていた本邦機関投資家によるヘッジ売りなどが警戒される。

米10年債利回りは1%を割り込んで0.9043%まで低下しており、マイナス圏に突入するのではないかと、との警戒感が高まっている。

2003年のSARSコロナウイルスによるドル円と日経平均株価の下落率と同様の下落率を想定した場合、以下の通りとなる。

ドル円は、高値112.23円から8%下落(-8.98円)で103.25円。

日経平均株価は、高値24115.95円から18%下落(-4340円)で19775円。

日経平均株価の下値目処は、株価純資産倍率(PBR)1倍前後の20600円処、昨年8月6日の安値20110円処となっており、攻防の分岐点としては、日本銀行が購入している上場投資信託(ETF)の持ち値と推定されている19100円処となる。

日銀による2日連続の5000億円規模の国債買い現先オペや、過去最大規模の上場投資信託(ETF)購入にも関わらず、日経平均株価の下落に歯止めがかかっていないことで、日本銀行への不信感が高まっており、日銀株は、1985年以来の30000円割れとなっている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 08:30 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、質疑応答セッションに参加
- 09:30 ☆ 10-12 月期豪国内総生産 (GDP、予想：前期比 0.4%/前年比 2.0%)
- 10:45 ◎ 2 月 Caixin 中国サービス部門購買担当者景気指数 (PMI、予想：48.0)
- 16:00 ◎ 1 月独小売売上高指数 (予想：前月比 1.0%/前年比 1.5%)
- 16:30 ◎ 2 月スイス消費者物価指数 (CPI、予想：前月比 0.2%)
- 17:50 ◎ 2 月仏サービス部門 PMI 改定値 (予想：52.6)
- 17:55 ◎ 2 月独サービス部門 PMI 改定値 (予想：53.3)
- 18:00 ◎ 2 月ユーロ圏サービス部門 PMI 改定値 (予想：52.8)
- 18:30 ◎ 2 月英サービス部門 PMI 改定値 (予想：53.3)
- 19:00 ◎ 1 月ユーロ圏小売売上高 (予想：前月比 0.6%/前年比 1.1%)
- 未定 ◎ ポーランド中銀、政策金利発表 (予想：1.50%で据え置き)
- 21:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 21:00 ☆ 10-12 月期ブラジル GDP (予想：前年同期比 1.5%)
- 22:15 ☆ 2 月 ADP 全米雇用報告 (予想：17.0 万人)
- 22:30 ◇ 10-12 月期カナダ労働生産性指数 (予想：前期比 0.2%)
- 23:15 ◎ ベイリー次期英中銀 (BOE) 総裁、総裁就任に関して議会証言
- 23:45 ◎ 2 月米サービス部門 PMI 改定値 (予想：49.4)
- 23:45 ◎ 2 月米総合 PMI 改定値
- 24:00 ☆ 2 月米サプライマネジメント協会 (ISM) 非製造業指数 (予想：54.9)
- 24:00 ☆ カナダ銀行 (BOC、中央銀行)、政策金利発表 (予想：1.75%で据え置きと 1.50%に引き下げで拮抗)
- 5 日 00:30 ◇ EIA 週間在庫統計
- 5 日 03:00 ◎ ブロードベント BOE 副総裁、講演
- 5 日 04:00 ◎ 米地区連銀経済報告 (ページブック)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

3日 06:31 ECB

「新型コロナウイルスの急速な拡大、経済見通しや金融市場の機能にとってリスク。必要かつリスクに応じて、適切で目標を絞った措置を取る用意」

3日 10:45 モリソン豪首相

「新型コロナウイルスの感染が拡大した場合、必要に応じて財政刺激策を実施。もし RBA が利下げした場合、4 大銀行も完全に金利を引き下げると予想する」

3日 12:30 オーストラリア準備銀行(RBA)声明

「世界的なコロナウイルスの発生に対応し、経済を支援するために利下げを決定」

「今後もコロナウイルスの経済への影響を確認し、進行についても注意深く監視を続ける」

「豪経済を支援するため、金融政策をさらに緩和する用意がある」

「コロナウイルスの世界的な発生は完全雇用とインフレ目標への進展を遅らせると予想」

「理事会は雇用と経済活動に追加支援を提供するため、金融政策をさらに緩和することが適切であると判断」

「コロナウイルスは、世界経済の短期的な見通しを曇らせている」

「コロナウイルスの影響がどれほど持続し、どの時点で世界経済が改善方向に戻るかと述べるのは時期尚早」

「豪ドルは最近さらに低下し、長年にわたって最も低い水準にある」

3日 13:23 主要7カ国(G7)関係筋

「G7 財務相、会合後に声明発表へ 緊密な連携を確認」

「G7 声明、現時点で協調利下げや財政出動は盛り込まない方向で調整」

3日 15:40 トランプ米大統領

「FRB は緩和し、大幅に利下げすべきだ」

「米国の輸出企業は厳しく、米国の競争力に不利益」

「FRB は追加緩和するべき。FRB の金利はまだ高過ぎる」

3日 16:02 ルメール仏財務相

「ラガルド ECB 総裁との電話会談はポジティブな内容だった」

「ユーロ圏および G7 レベルでの強固で強調した対応を求めている」

3日 18:44 カーニー・イングランド銀行(BOE、英中銀)総裁

「景気支援のためにあらゆる措置を講じる」

「新型コロナウイルスに適切に対応する」

「G7、G20、IMF とコンタクトを取っている」

「英経済は回復しているが、まだ始まったばかり」

「ウイルスは 0.25%から 0.50%成長率に影響すると予測」

「ウイルスの影響は 2008 年のショックよりも持続性が低い」

「経済回復が持続しない場合は、BOE は行動する必要がある。しばらくの間、低金利が続く可能性が高い」

3日 18:52 テンレイロ英中銀金融政策委員会(MPC)委員

「さらなる財政政策によって緩和的な金融政策は必要ではなくなる。労働コストに関連した物価圧力の弱さが続いていることはインフレ見通しにとって下方向のリスク」

3日 19:56 ホルツマン・オーストリア中銀総裁

「貸し出し条件付き長期資金供給は来週の会合で検討」

「TLTRO 実施に動くのに緊急性はない」

「ECB は警戒すべきではあるが、過剰反応してはいけない」

3日 21:39 麻生財務相

「金融市場の安定に万全を期す」

4日 00:09 米連邦公開市場委員会(FOMC)声明

「動向を注視し、適切に行動する」

「米経済のファンダメンタルズは依然強い」

「利下げ決定は全員一致」

4日 01:04 パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長

「1月の会合以降、新型コロナウイルス感染は新たなリスクになった」

「FOMC は見通しへのリスクが大きく変わったと判断」

「雇用増加ペースはしっかり。賃金は上昇」

「注意深く監視を続け、経済を支援するために適切に行動する」

「G7 諸国はそれぞれ行動へ」

「FRB は他の中銀と積極的に協議」

「公式な協調行動、追加で実施する可能性もある」

4日 04:53 メスター米クリーブランド連銀総裁

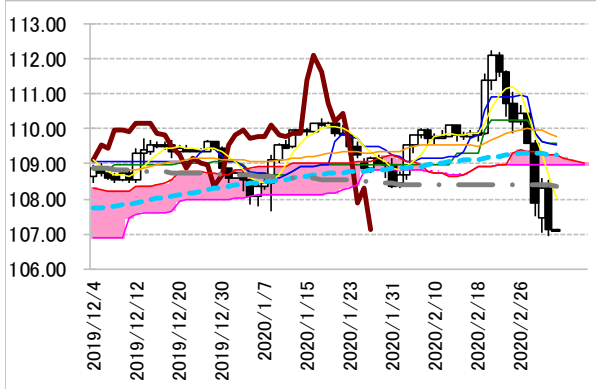
「新型コロナウイルスは今年上期の米 GDP を圧迫」

「米国ファンダメンタルズは依然として強い」

「FRB は急速に変化する状況に注意深く監視」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

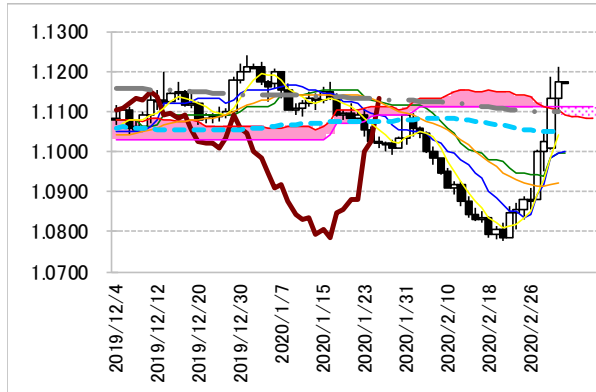


<ドル円=200日移動平均線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。毛抜き天井（112.23円・112.19円）から陰線新安値6手で下落しており、下落トレンド継続の可能性が示唆されている。

本日は、200日移動平均線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	108.97(日足一目均衡表・雲の下限)
レジスタンス 1	108.38(200日移動平均線)
前日終値	107.13
サポート 1	106.48(2019/10/3 安値)
サポート 2	105.59(2019/8/27 安値)

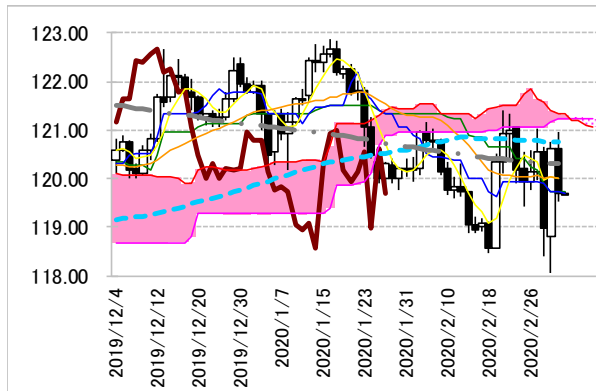


<ユーロドル=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。2017年4月の窓（1.0738ドル・1.0821ドル）を埋められず、陽線新高値7手で上昇しており、上昇トレンド継続の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1239(2019/12/31 高値)
前日終値	1.1173
サポート 1	1.1110(日足一目均衡表・雲の上限)

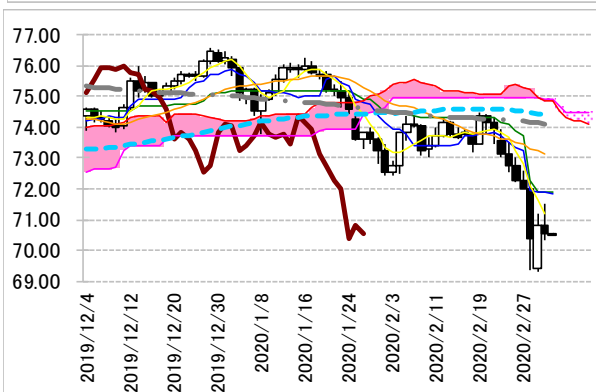


<ユーロ円=3/3高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯。3月2日の大陽線に対して孕み線で反落しており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、3月3日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	120.95(3/3 高値)
前日終値	119.69
サポート 1	118.07(3/2 安値)



<豪ドル円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。3月2日の「差し込み線」に続く陰線により続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	71.81(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	70.52
サポート 1	69.33(3/2 安値)

